

3代目社長 水谷忠司に聞く —水谷不動産と不動産業の未来—



会長と社長の幼少時代

①不動産業以外に興味のあった仕事はありましたか？
—若い頃アルバイトで飲食店の店長をした経験があり、そのころから料理を作ること好きでした。僕の小さな夢として、今後、機会があったら飲食店を作ってオーナーもやってみたいなあって考えてます。その時はぜひみなさんきてくださいね！



私の作るどて煮はおいしいですよ

②世代交代はいつ頃感じましたか？
—正直明確にはピンと来ないですね。ただ5年前から父の足の自由が利かなくなってきたので父に対するイメージは変わりました。元々父は私の中学の授業参観まで来るような変に面倒見の良い人でした。私も一人っ子でそんな父に甘えきりだったので、今でも時に父に頼ってしまう甘い部分もあります。

③ここ数年の不動産業者事情
—ここ数年で賃貸・売買業ともに多くの不動産会社が増えてきました。私も新規の会社さんとの付き合いがあります。その中で感じることは、**効率化に特化したスタイルで、利益重視な会社が多くなった**ということです。時代の流れ的にも仕方ないことではあります。やはり私は人との付き合い、まあ「人情」というか・・・そういうものを大切に、感謝されながら仕事をしたい思いが強いです。そういったところが地元の不動産屋さんと大手さんとの違いかなとも思っています。

ら物、を愛嬉から果たり、話可か野菜たお可てな野いんき、いんお頂さ頂いてのをくして頂いて旬等たしがいい



④今後の不動産業者はどうなっていくと考えてますか
—最近のコロナの影響により、テレワークやパソコン画面上での重説の普及など、今よりもさらに効率的に業務をする会社が主流になると思います。そうなることで効率的で便利になる反面、不動産という重要な資産を扱う仕事としては**少し軽率で、オーナー様の気持ちを加速しそうで不安な気持ちもあ**りますね。

⑤社長の今後の目標について
—私も60歳近いジジイになっているので、新しいことについていく勉強も頑張らないといけないと思う反面、若い人には勝てないことも増えてきているのも事実です。うちで働いてくれてる息子や従業員をはじめ若い知恵に頼りながら今の時代に合った地元の不動産屋さんとしての宿命を考える。そしてその**バトンを息子に託すことが、私の最後で最大の仕事になる**だろうとしみじみ感じています。

(令和2年4月30日)

資材置き場という活用方法



<資材置き場に向いている土地>

- ★手に負えなくなってしまった田、畑
- ★駐車場が多く、収益が見込めない遊休地等

<使用目的>

主に、名古屋市の委託工事、アパート・マンションや戸建て住宅などを建設する際、**一時的な資材置き場として**使用されます。



今は3密を避けること。また、新型コロナウイルスにかからない体力や免疫力を上げること。その為に私は食品に気を遣っています。レンコン、キクラゲ、納豆、緑茶(粉末にしてヨーグルトに混ぜたりし茶葉も摂取)、キムチやニンニク等を食べることに励んでいます。お客様のご来店の時、口臭が臭い時があると思います。申し訳ありません。ニンニク臭です。(笑)

ブログ ~幸江の想い出~



新型コロナウイルスで皆様大変な生活をしていられると思いますが、いかがお過ごしでしょうか？
まさか、非常事態宣言まで発令される事になるとは思いませんでした。今は3密を避けること。また、新型コロナウイルスにかからない体力や免疫力を上げること。その為に私は食品に気を遣っています。レンコン、キクラゲ、納豆、緑茶(粉末にしてヨーグルトに混ぜたりし茶葉も摂取)、キムチやニンニク等を食べることに励んでいます。お客様のご来店の時、口臭が臭い時があると思います。申し訳ありません。ニンニク臭です。(笑)

【ゆきえの日記】